

沖縄県うるま市におけるサイクルツーリズムの推進に関する取組

発表者：松田 耕司（株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社）

連名：佐渡山 尚人・横田 竜・玉元 敬佑（うるま市 経済部 観光振興課）

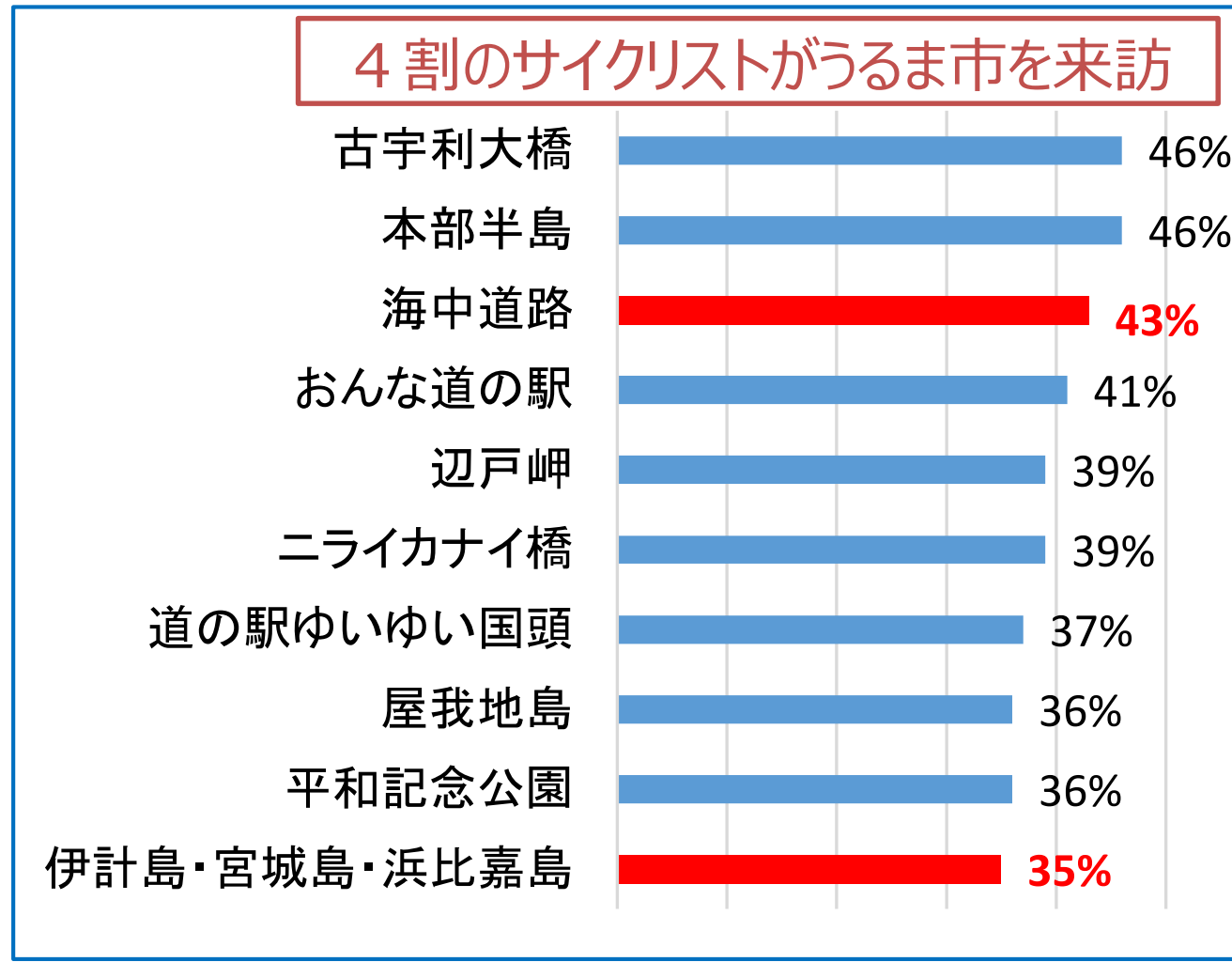
森 豊（一般社団法人沖縄県サイクルスポーツ振興協会）

佐藤 貴行（株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社）

1. 背景・目的

沖縄県うるま市は、海中道路をはじめサイクリストが地域選
びで重視する資源を豊富に有しており、**県内でも有数のサイ
クリング人気スポット**となっている。

そこで、**サイクリングによる市内へのさらなる誘客を図り、観
光関連事業者の消費拡大に繋げていく**ことを目的とし、地域
資源の魅力を最大限に生かしたサイクルツーリズムの推進に向
け、**誘客ターゲットの設定、モデルルート**の作成、**受入環境
の充実化に向けた課題及び対応策の整理**を行った。



▲沖縄県内においてサイクリストが訪れている上位10箇所（出典：沖縄県サイクルスポーツ振興協会によるアンケート調査）



海中道路

2. 各種調査や勉強会の実施 ～サイクルツーリズムの動向や市内を訪れるサイクリストの動向等の把握～

各種統計資料の分析

既存の統計調査を基に分析し、サイクルツー
リズムの全体像や、沖縄県を訪れているサイクリ
ストの実態等を把握

⇒「旅行・レジャー手段層」、「ツーリング層」、
「サイクリングイベント層」が地域での消費が
高いことなどを確認

フィールド調査

サイクルツーリズムの関連団体等や行政職員
（50名程度）を対象に、市内のサイクリングを
体験してもらい、市内の魅力や課題等を把握
することを目的とし、フィールド調査を実施

⇒走行したサイクリングコースの魅力度につ
いて、「大変魅力的である」「魅力的である」の
回答が97.7%と、魅力的であることを確認

サイクリストへのヒアリング調査

うるま市内においてサイクリングを行う者を対象
としてヒアリング調査を実施し、自転車利用者の
属性や市内の走行環境の評価等を分析

⇒市内を訪れるサイクリストは長距離（50
～100km程度）のサイクリングを好むことな
どを確認

観光関連事業者の現状調査

サイクリストの立ちうる事業者などを対象に、サ
イクリストによる消費額や、サイクルスタンド設置
などサイクルツーリズム推進への協力の意向に関
する調査を実施

⇒「市からの要望に応じて取り組みたい」との
意向が80%と多くの事業者で協力の意向を
確認

関係者等へのヒアリング調査

サイクリングに知見のある団体や市内関連団
体等を対象として、ヒアリング調査を実施

⇒うるま市のサイクルツーリズムに関する受入
面の地域の実情、サイクルツーリズムの近年
の動向やサイクリストのニーズ等を把握

有識者による勉強会の開催

地域の観光事業者、関係団体、行政職員
等のサイクルツーリズムに関する理解促進、取
組意識の醸成や受入側の課題認識の共有
等を目的に、有識者による勉強会を開催

⇒有識者（ライドス 井上氏）より、うるま市
におけるサイクルツーリズムの可能性（前向
きなご意見）を確認。

レンタサイクル利用者のGPS動態調査

市内（海中道路マリン協会が運営）のレンタ
サイクルに対して、GPS機器を設置し、利用者
の走行ルート等を分析

⇒レンタサイクルによる移動距離は、12～
22km程度で、最大でも22kmであること、
島嶼エリアを訪れていることなどを確認

3. 誘客ターゲットの設定

各種調査を踏まえて、うるま市におけるサイクリング需要及び誘客の可能性を整理し、
誘客ターゲットを設定した。

＜設定した誘客ターゲットの概要＞

- ◆国内客／ツーリング層およびサイクリングイベント層
- ◆国内客／旅行・レジャー手段層
- ◆海外客／台湾・香港のサイクルツーリスト

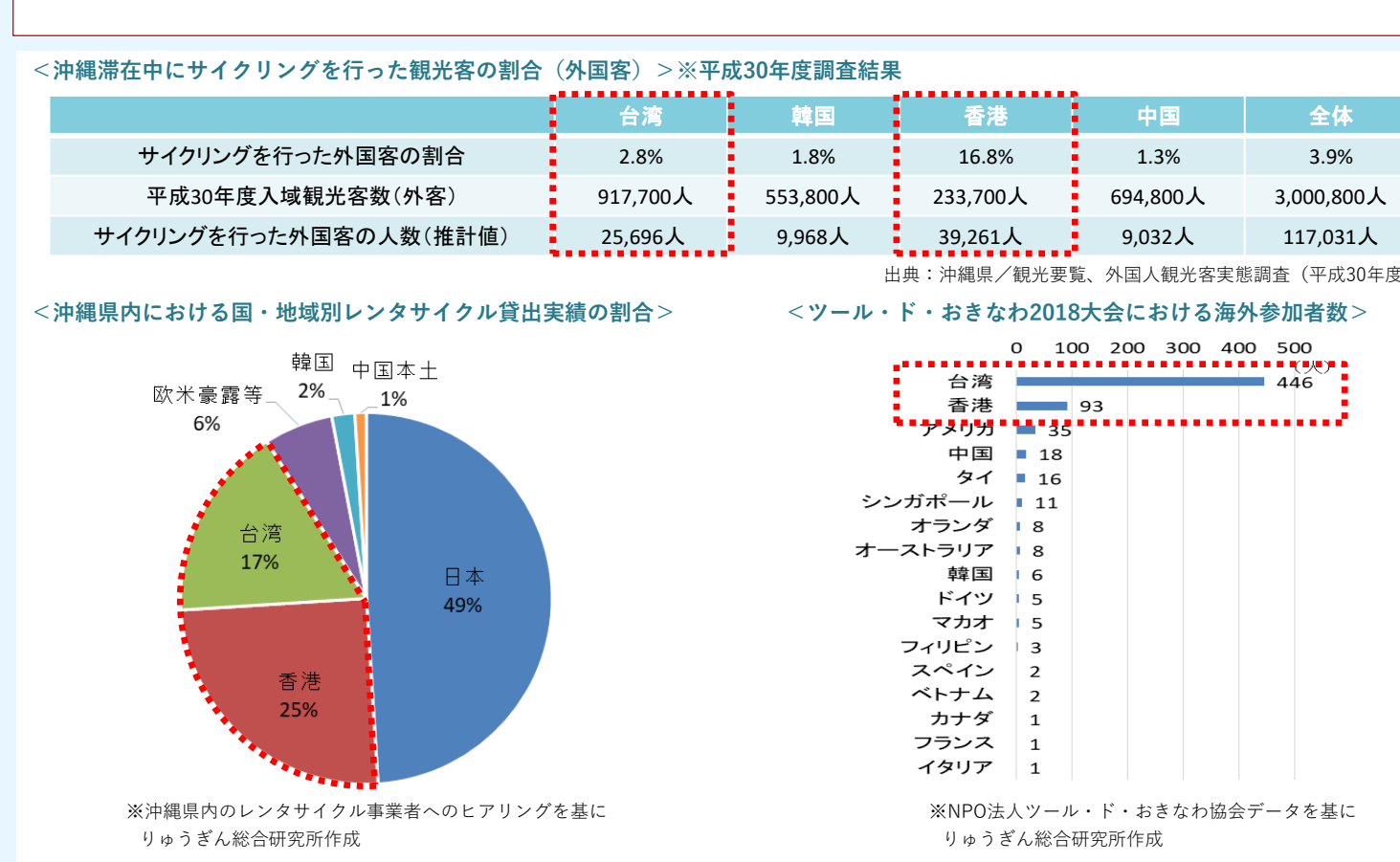
国内のマーケットは、地域消費の観点等から、
**「旅行・レジャー手段層」、「ツーリング層お
よびサイクリングイベント層」（ロングライド層）**
をターゲットとする。



▲国内客のターゲット

出典：ツール・ド・ニッポン/サイクリスト国勢調査2018

海外のマーケットは、コロナ禍後も、コロナ前
同様に沖縄へのサイクルツーリズム需要が
想定される**「台湾」、「香港」**の訪沖観光客、
サイクルツーリストをターゲットとする。



▲海外客のターゲット

出典：りゅうぎん総合研究所

4. サイクリングのモデルルートの作成

フィールド調査や、うるま市を訪問しているサイクリストや誘客ターゲットの特徴及びニ
ーズ等を踏まえ、**モデルルートを作成**した。

＜作成したモデルルートの概要＞

- ◆地域消費が多く期待できる国内の「ツーリング層およびサイクリングイベント層」（ロング
ライド層）やインバウンド（台湾や香港）をターゲットとした**ロングコース（90km程度）**
- ◆国内の「ツーリング層およびサイクリングイベント層」（ロングライド層）やインバウンド
（台湾や香港）をターゲットとし、**半日程度で周遊できるミドルコース（50km程度）**
- ◆「旅行・レジャー手段層
（観光客）」をターゲットとし、
**半日程度での周遊を想定した
ショートコース（35km程度）**



▲作成したモデルルート

5. 受入環境の充実化に向けた課題及び対応策

各種統計調査や関係者へのヒアリング調査結果、関係者会議などの意見を踏まえて、
重要度（優先度）や時期（短期・中長期）、ターゲットごとに、取組を整理し、
誘客ターゲットに応じた受入環境の充実化に向けた**5つの課題と、それぞれの課題に対
して、10の対応策**を取り纏めた。

6. 今後の展開

10の対応策のうち、今年度は以下の取組を実施する予定である。
受入環境の充実化、プロモーション活動の順で優先的に取り組み、次年度以降も継続
して実施できるように基盤を構築する。

- ◆サイクリングマップの作成
- ◆ルート上の協力店舗（公募）による受入体制の充実
- ◆自転車関連団体等と連携したイベントやツアーの定期的な開催
- ◆WEB、SNS等によるサイクルツーリズムの情報発信
- ◆自転車関連メディアやイベント等でのプロモーションの検討・実施
- ◆関係者による定期的な協議会、勉強会等の開催

▼受入環境の充実化に向けた課題及び対応策

課題	対応策・必要な取組内容
1. ターゲットに応じたコース・ルート設定	①サイクリングマップの作成
2. 主要な拠点の設定と必要機能の検討・構築	②主要な拠点の設定 （ゲートウェイ機能、休憩機能） ③設定した拠点への必要な機能の検討と整備
3. 歓迎姿勢、受入体制の充実	④ルート上の協力店舗（公募）による受入体制の充実 ⑤自転車関連団体等と連携したイベントやツアーの定期的な開催 ⑥地域における関連サービスの検討・構築
4. 効果的な情報発信	⑦WEB、SNS等によるサイクルツーリズムの情報発信 ⑧自転車関連メディアやイベント等でのプロモーションの検討・実施
5. 官民一体となった推進体制構築	⑨関係者による定期的な協議会、勉強会等の開催 ⑩サイクリングガイド等の人材育成